

文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業



# 慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点 活動報告 Activity Report No.8

## 慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点主催 パネルデータ解析セミナー

【対象】学部生、修士・博士課程在籍者・修了者、  
公務員、シンクタンク等研究機関研究員

【日時】平成23年3月7日（月）～10日（木）  
13:00～18:00

【場所】三田キャンパス大学院棟 331教室

### 【プログラム】

- (1) Stataの利用方法
- (2) パネルデータの構築
  - (a)異なるデータセットの接続 (merge, appendコマンド)
  - (b)繰り返しによる処理 (foreachなど)
  - (c)マクロ (localなど)
- (3) クロスセクション分析
  - (a)質的従属変数モデル (probit, logit, clogit)
  - (b)サンプル・セレクションモデル (heckman)
- (4) パネルデータ分析
  - (a)固定効果・変量効果モデル (xtreg)
  - (b)差分の差分推定
  - (c)イベント・ヒストリー分析  
(ハザード分析・サバイバル分析)

2011年3月7日から10日までの4日間にわたり、「パネルデータ解析セミナー」が開催された。本セミナーでは、統計パッケージStataを用いて、パネルデータの基礎的なハンドリングの方法と分析方法について、受講者による演習を交えながら講義が行われた。

今回で4回目となる本セミナーは、実際のパネルデータ(慶應義塾大学家計パネル調査: KHPS)を用い、データセットの構築から、基礎的なパネルデータの分析手法に加え、パネルデータ利用時に発生する諸問題(脱落問題など)への対処方法について学んだ。

前回に引続き、今回のセミナーも定員(60名)を超える申し込みを頂戴した。受講者は、官公庁や民間シンクタンクの職員から、大学教員、大学・大学院生と、様々な分野から参加があり、あらゆる方面で統計解析手法やパネルデータへの関心の高さがうかがえた。連日13:00から18:00の長丁場であったが、参加者の方々は熱心に受講され、盛況に幕を閉じた。

終了後に多くの参加者にご協力いただいたアンケート回答結果を、今後のセミナー開催に活かし、より一層充実した活動を行っていききたい。



使用したテキスト  
樋口美雄拠点代表



セミナーの様子